



自然を
楽しむ

99

「御影石の本家本元」

北村 豊

(小布施町栗ヶ丘)

花崗岩は、日本では最も多く建築資材として用いられ、最大の建造物は国会議事堂でしょう。

そのため“議員石”とも呼ばれ、その拡大写真で判るように石英（透明）、ケイ素（白色）を主体とし、黒雲母（マイカ）が含まれています。

粘性の強いマグマが、地下深くで何と“数十～数百万年”もかけて冷え、形成されるそうです。

“御影石”とも呼ばれますが、本家本元は神戸市の旧御影町で採れた花崗岩のことなのですね。